

施策の方向性

【重点1】大阪産業・経済のグローバル競争力向上

- 成長分野や新たなビジネスへの参入促進
- AI、IoT等の活用による生産性及び技術力の向上
- 産業集積の維持・拡大
- 人材力の強化

【重点2】海外企業との積極的なビジネス展開

- 海外企業との取引の促進
- 府内中小企業の海外進出の拡大
- インバウンドによる国際化の促進

1

<取組体制等>

○様々な産業・労働支援機関との連携

- ・ 庁内他部局はもとより、国、市町村、経済団体や民間支援機関など関係する産業支援機関と、適切な役割分担の下で連携して、オール大阪で府内民間企業の主体的な経済活動を支援する

○統合議論との整合性

- ・ 具体的な取組みについては、大阪産業振興機構と大阪市都市型産業振興センターの統合に向けて議論している、中小企業支援施策のあり方検討の内容との整合を図る

○ハンズオン型支援の構築

- ・ 具体的取組みの検討に際しては、個々の中小企業の状況に応じたきめ細やかな、ハンズオン型支援の構築をめざす

○取組期間、PDCAサイクルの確立

- ・ 取組みの時間軸については、概ね3年間とする
- ・ 各取組みにおいてアウトカム目標を設定し、進捗状況の把握や効果検証を行い、その結果を取組み内容にフィードバックするPDCAサイクルを確立する

2